

平成 31 年度 荇子田小学校 体育・健康プラン

【荇子田小学校 キャッチフレーズ】 みんなで笑顔 みんなで元気 みんなで伸びる キラキラ荇子田

〈荇子田小学校 児童の体育・健康面の姿〉

体力テストの結果を見ると、長座体前屈・立ち幅跳びを除いて、ほとんどの項目で横浜市・全国の平均を下回っているものが多い。握力・反復横跳び・50m走については、どの学年も平均以下である。

給食では、残食率が低い。朝食の摂取率は高く、朝食の大切さの理解が各家庭である。一方、はみがき検査でA判定の児童は半分程度。

〈荇子田小学校体育・健康に関する指導の目標・方針〉

- ◎ 日頃から様々な運動遊びに親しみ、柔軟性・基礎筋力を自然と養う児童の育成
- ◎ 体を使った運動、運動遊びに精通し、児童に伝える職員の育成
- ◎ 児童の健康・体力向上に関心をもち、進んで支援する保護者、地域の育成

教科

《体育科・保健体育科での取組》

・単元の特性を明確にし、児童が学習のねらいを理解したり、楽しい運動に取組めるように授業づくりを工夫する。

・資料や学習カードを有効に活用し、児童一人ひとりがめあてをもち自分にあった場などを選び、運動に取組めるよう指導する。

・保健では養護教諭と連携を取り、食事、運動、睡眠の調和がとれた生活が必要であること、またそれが病気の予防につながることを学ぶ。

《他教科での取組》

家庭科では食教育と連携を図り、『バランスのとれた食事』など、豊かな食生活が体力の向上につながることを伝えていく。

特別活動等

・保健委員会では、教室や校舎を清潔に維持するための環境づくりや用具の整備に重点をおき、健康・安全につながる活動を行う。

・運動委員会では、学校の体育行事に沿った活動を行い、児童が意欲的に取組めるようにする。また多様な運動の機会を促す活動をすることで運動の特性に応じた楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

・学校保健委員会では、児童の健康状態をとらえ、年間を通じて改善していくための取組を行うことで、児童が健康に関する知識・関心をもち、健康の保持増進につなげる。

食育

全体的に見ると残食率がとても低い。しかし、外遊びをしない児童の残食が多い傾向があり、よく食べる児童とそうでない児童の差が激しい。運動と食事の重要性を日常的に指導し、運動を推進して、よく食べる児童を増やしていく。

課外活動

・年間を通じて、区の各種陸上競技大会への参加の推進とそれに向けた朝練習を行い、目標を達成することの楽しさや喜びを味わうとともに、基礎体力の向上を目指す。

《平成 29 年度 荇子田小学校体力向上 1 校 1 実践運動》

《名称》「長縄跳び集会」（1・2 学期）「マラソン集会」（3 学期）

《内容》体育的行事を運動委員会が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。長縄集会…3 分間の 8 の字跳びの回数の記録会 マラソン集会…札幌～沖縄までの距離の完走を目指した。